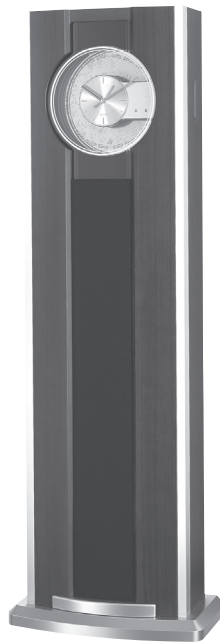


ディスクオルゴールクロック (電波時計)



お問い合わせについて

製品に関するお問い合わせの際は、製品番号 5RN401 をお伝えください。

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:45 (土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

目 次

	ページ
1. ご使用上の注意	3
ご使用する上で守っていただきたいことが書いてあります。	
2. 電波時計について	4
電波時計の特徴やお使いいただける範囲などが書いてあります。	
3. ご使用場所について	4
時計を設置していただくときの条件などが書いてあります。	
4. 付属品	5
5. 設置	5
6. 各部の名称と役割	6
各部の名称やその役割について書いてあります。	
7. 時計の使い方	7
電池を入れて受信するまでの手順が書いてあります。	
8. オルゴールの使い方	8
-1 オルゴールのディスクのセット方法	
-2 報時スイッチの設定	
-3 オルゴールディスクのお手入れ方法	
-4 試聴方法	
-5 演奏速度の調節	
オルゴールの経年変化について	
9. 受信の流れと受信表示ランプの見方	10
10. 時刻のバックアップ機能	10
11. 電波受信機能の ON/OFF 操作	11
12. 明暗センサーとスリープモニター	11
13. お手入れについて	11
製品仕様	12
アフターサービスについて	12

1.ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

表示内容を見逃して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



警告

この表示は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。



注意

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。



強制

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



強制

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしないでください。コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

電源コードにものを乗せたり、折り曲げたり、傷つけたりしないでください。感電、火災、故障の原因になります。



強制

煙が出たり、変なおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。



警告

転倒すると危険ですので、水平で振動などが少ないところに設置してください。また、転倒防止のため、付属のチェーンで固定してください。



分解禁止

ご自分で修理・分解・改造をしないでください。火災や感電、やけど、故障の原因になります。



注意

精密機械ですので、振動や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

2. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

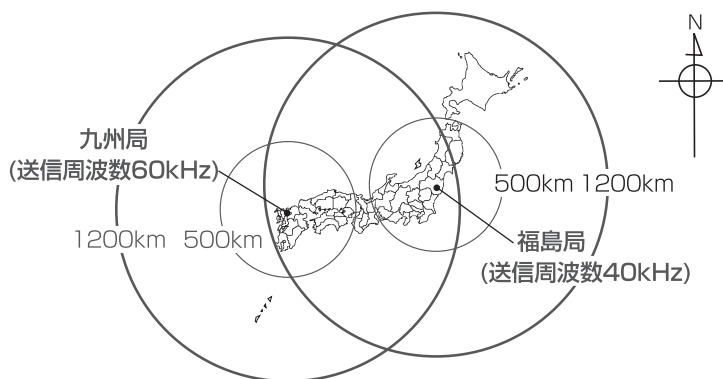
日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(<http://jij.nict.go.jp>)



自動的に送信局を選択して受信します。

受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

○標準電波の送信が止まることがあります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

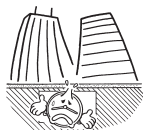
この時計は、電源など日本国内仕様になっています。海外でのご使用はしないでください。

3. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



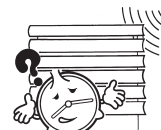
工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

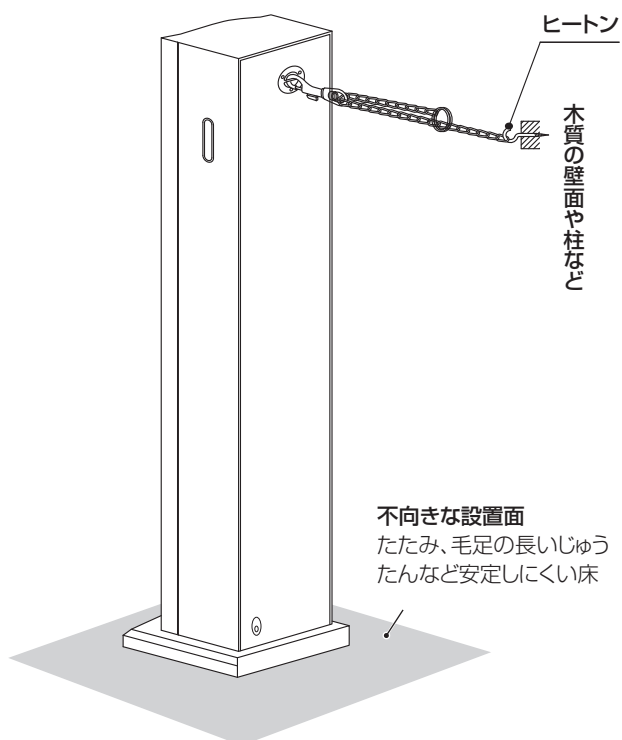
- 温度が+ 50℃（50度）以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃（氷点下10度）以下になる所。（プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。）
- 浴室など、湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する場所。（空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。）
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。（磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。）
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。（霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。）
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

4. 付属品

付属品を確認してください。不足している場合は、販売店にお問い合わせください。

オルゴールディスク	6枚
ACアダプター	1個
リモコン	1個
単3形アルカリ乾電池（リモコン用）	2個
固定用チェーン	1個
ヒートン（木質の壁または木の柱用）	1個
手袋	
ふき布（オルゴールディスク用）	
保証書	1枚
取扱説明書	本書

5. 設置



水平で安定したところに設置してください。

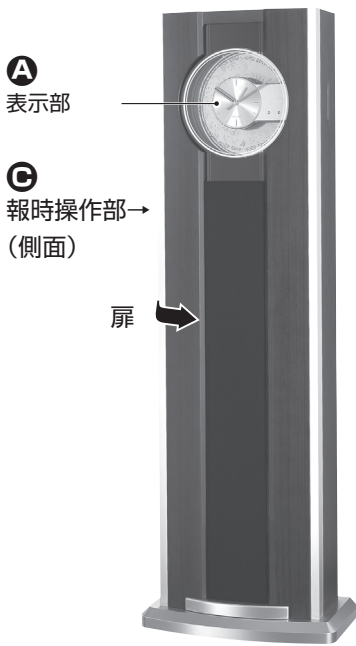
地震などにより時計が倒れますと非常に危険ですので、左の図のように付属のチェーンで固定してください。壁面などに固定する金具などは、取り付け面の構造や種類に応じたものをご用意ください。付属のフックは厚い木質の壁面や柱用です。

※この時計は AC100V 電源を使用しますので、電源を確保できるところに設置してください。

※付属のヒートンは木質の厚い壁面や木の柱用です。

6. 各部の名称と役割

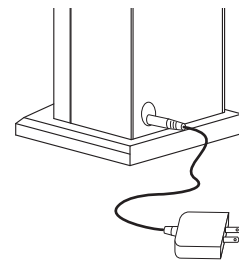
図は操作説明用ですので、商品と異なることがあります。



【正面】

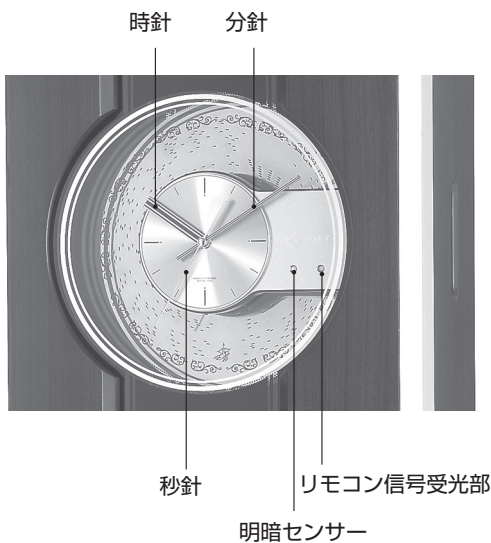


【扉を開けた状態】



家庭用AC100V
コンセントへ

【裏面 AC アダプター接続部】



【A 表示部】

時計・分針・秒針の動き方

通常の時刻表示

時計・分針：10秒に1回動きます。

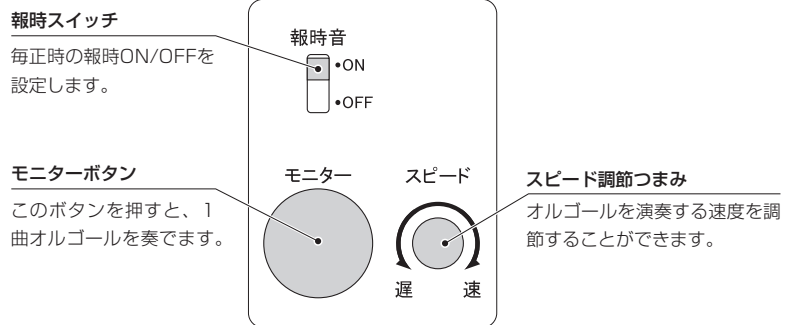
秒針：滑らかなステップで1秒を刻みます。

自動時刻修正

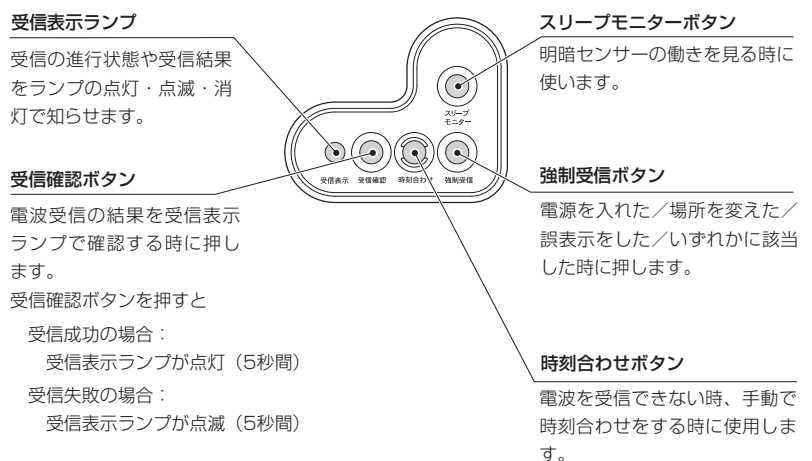
時計・分針：早送りで順方向または逆方向に動きます。一時停止することもあります。

秒針：早送りで順方向に動きます。12時位置に停止することがあります。

【C 報時操作部詳細】



【D 電波受信操作部詳細】



7. 時計の使い方

この時計は、時刻を合わせて出荷しております。AC 電源に接続すると、時刻を表示します。標準電波を受信することにより、自動的に時刻修正を行います。電波が受信できない場合は、平均月差 ± 3 秒の高精度で時を刻みます。

1 AC アダプターを接続する

時計裏面の DC 入力端子に AC アダプターのプラグを取り付け、AC コンセントに取り付けます。



付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターを使用した場合、火災の発生や故障などの原因となります。

2 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが 3 秒間点灯し、針が動き出し時刻を表示します。受信中はボタン操作をしないでください。

☞ 「11. 時刻のバックアップ機能」(P.10) をお読みください。

3 電波受信の結果を確認する

強制受信ボタンを押してから 15 分以上経過してから、受信確認ボタンを押してください。

受信表示ランプのにより、受信の成功/失敗が確認できます。

受信成功：受信表示ランプが 5 秒間点灯 正しい時刻を表示しています。

受信失敗：受信表示ランプが 5 秒間点滅 平均月差 ± 3 秒の精度で時を刻みます。

○詳しい受信の流れは、「9.電波受信の流れと受信表示ランプの見方」(P.10) を参照してください。

○受信に失敗して、時刻が正しくないときは、「手動で時刻を合わせをする方法」を参照してください。

○受信に成功しているのに時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられます。再度強制受信ボタンを押し、受信を試みてください。

受信が出来ない場合

○一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、数日後に受信確認ボタンを押して、受信の成功失敗を確認してください。

○ノイズにより誤った時刻を表示しやすいところでご使用になるときは、「11. 電波受信機能の ON/OFF 操作」(P.11) をご覧の上、電波受信機能を停止させてください。

4 報時スイッチを設定します

○ N：毎正時にメロディを 1 曲奏でます。

OFF：報時しません。

※ご使用になるときは、オルゴールディスクをセットしてください。セット方法は、「8.オルゴールの使い方」(P.8) をご覧ください。

手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができます。

● ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。

● 電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。

時刻合わせボタンの操作

○時刻合わせボタンを押してすぐ離すと 1 分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は 12 時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。

※秒針は時刻合わせボタンを押している間、「0 秒」に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

8. オルゴールの使い方

-1 オルゴールディスクのセット

- ①扉を開きます。
- ②オルゴール機構のレバーを押しながら、アームを持ち上げて外します。
- ③好きな曲目の入ったディスクを選びます。
- ④ディスクのエンゼルマークを右にして、オルゴールの軸に差し込みます。
- ⑤アームをオルゴールの軸に差し込みます。このとき、アームがロックされている（カチッと音がする）ことを確認してください。
- ⑥扉を閉めます。

※ディスクを取り外すときは、ディスクが落下することがありますので、必ずディスクを押さえながら、アームを持ち上げてください。

※アームをロックすると、ディスクは機構上、多少湾曲しますが問題ありません。

※ロックされない場合は、レバーを押しながらアームを持ち上げて外し、ディスクを入れ直してください。

オルゴールディスクを取り扱いときには注意事項を守ってください。けがや故障の原因になります。

○ディスクの外周部や凸部は尖っていますので、指でこすらないでください。

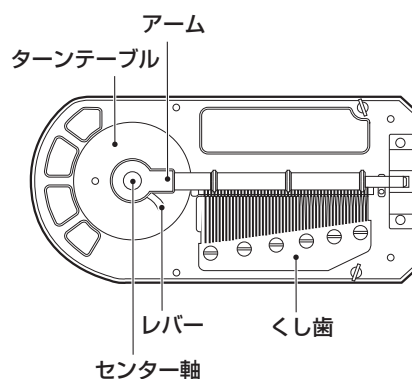
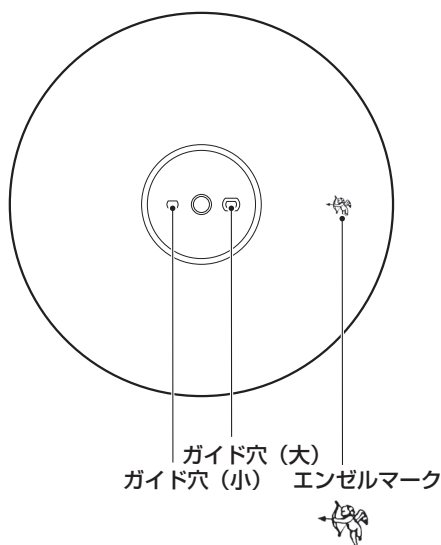
○ディスクを落とさないでください。

○回転部分に布などを当てたまま回転させないでください。

○回転しているときに顔や手を近づけないでください。



注意



-2 報時スイッチの設定

毎正時にオルゴールを鳴らすには、報時スイッチを「ON」にします。

報時スイッチが「ON」のときでも、暗になると自動的に停止します。詳しくは「12 明暗センサーとスリープモニター」(P.11)を参照してください。

-3 ディスクのお手入れ方法

- オルゴール演奏中に、ディスクが停止したり、回転ムラが発生した場合は、付属のふき布でディスクの裏面（文字が印刷されていない面）に付いている油を、きれいにふき取ってからご使用ください。
- ディスクのお手入れについては、洗剤、溶剤等は使用しないでください。必ず、付属のふき布をご使用ください。

オルゴールの経年変化について

- 長期間ご使用になりますと、オルゴールの機構上、接触部の磨耗や疲労により、音が変化することがあります。このようなときは、販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

-4 試聴方法

2つの方法があります。

①モニターボタン

モニターボタンを押すと、1曲オルゴールを奏でます。

②リモコン操作

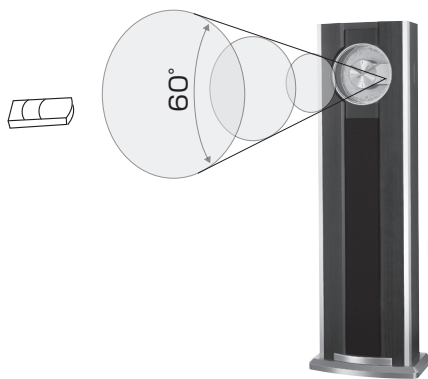
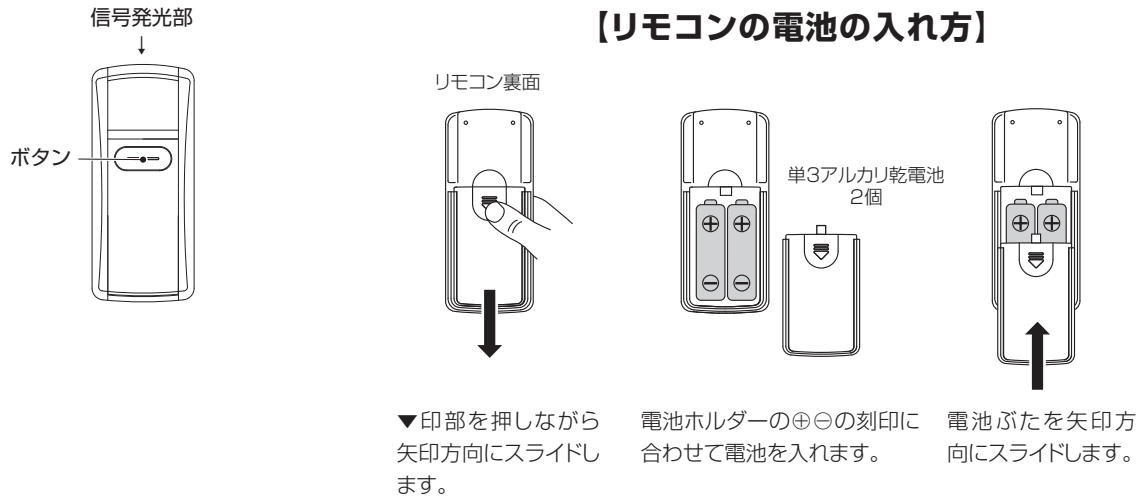
リモコンに電池を入れ、リモコンを時計に向けてボタンを押し続けてください。1曲奏でます。

※リモコンで操作できるのは、オルゴールをスタートさせることだけです。

※受信範囲がありますので、その範囲内で操作してください。

リモコン用電池の交換時期

時計本体が動いているのにリモコンからの操作ができない場合は、リモコンの電池を新しいものに交換してください。電池からの液もれを防止するため、1年に1回定期的に電池を交換することをお勧めいたします。



リモコン操作範囲

受光部より5m以内で受光部が見えるところで操作してください。

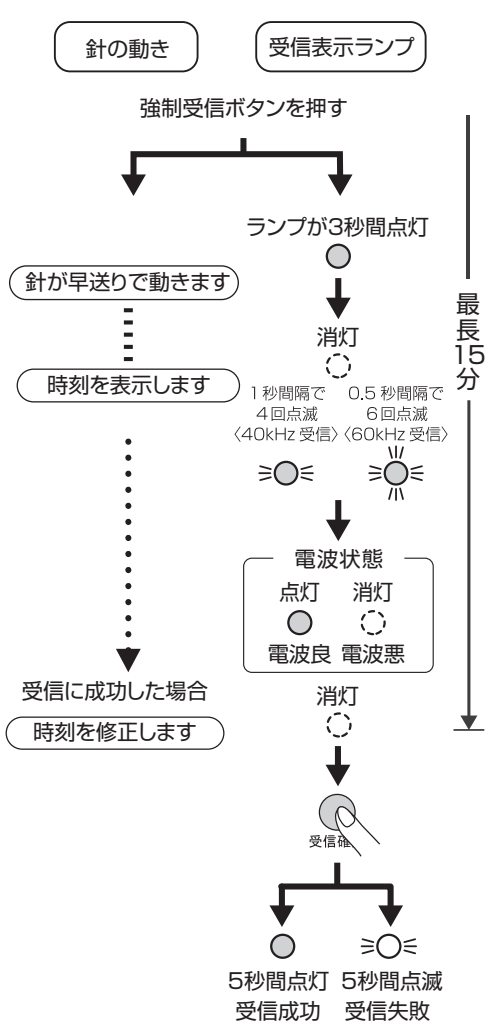
※範囲は受光部より約60°の円錐形。

-5 演奏速度の調節

スピード調節つまみを操作することにより、オルゴールの演奏速度を調節することができます。モニターボタンを押して演奏している間にお好みの速さに調節してください。

1回転する時間をおよそ50秒の範囲で調節出来ます。

9. 受信の流れと受信表示ランプの見方



① 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが約3秒間点灯後、針が順方向または逆方向に動いたり、止まったりした後に時刻を刻み始めます。表示される時刻は内部に保持している時刻です。その後、およそ1分以上待っても点滅しない場合は、受信できません。

② 受信表示ランプの状態を確認する

時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

Ⓐ 消灯→電波を受信できません。

設置場所を変えると改善されることがあります。

Ⓑ 不規則な点滅や短い間隔での点滅

電波が弱いです。受信に失敗する可能性があります。

Ⓒ 点灯

良好な電波状態です。

③ 受信結果を確認する

強制受信ボタンを押してから約15分以上経過してから、受信確認ボタンを押します。

受信成功：受信表示ランプが5秒間点灯

受信失敗：受信表示ランプが5秒間点滅

電波受信機能が「OFF」に設定されている場合は、受信表示ランプは点灯・点滅しません。

10. 時刻のバックアップ機能

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつつつけています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

AC電源に接続し、強制受信ボタンを押すと、内部の時刻に基づき、針がすばやく時刻を表示します。また、停電などAC電源から電力の供給が止まると、内蔵電池に切り替わり時刻を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは針による時刻表示はしません。

※電波受信機能が「OFF」のときは、受信は行いません。

※AC電源から電力が供給されているときは、内蔵電池は使われません。

11. 電波受信機能の ON/OFF 操作

ノイズなどにより誤受信しやすいところや、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度となります。

■電波受信機能を「OFF」にするには（停止するには）

強制受信ボタンを押し、受信表示ランプの点灯に合わせ、強制受信ボタンをおよそ1秒間隔で3回押します。ボタンを押すタイミングによっては、「OFF」に切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

※電波受信機能が「OFF」のとき、強制受信ボタンを押すと、針が早送りで動いたり、止まったりしてから、時刻表示します。

■電波受信機能を「ON」するには（開始するには）

先に時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、強制受信ボタンを押して受信を開始します。

■電波受信機能の状態を確認するには

強制受信ボタンを押します。

ON：受信表示ランプが約3秒間点灯します。

OFF：受信表示ランプは消灯したままです。

※ AC 電源から電力の供給が停止しても、設定された電波受信 ON / OFF の状態は変わりません。

12. 明暗センサーとスリープモニター

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、報時をしなくなります。明暗センサーが明るいと判別した場合、秒針は現在時刻位置に早送りで移動します。

昼間や夜間照明時でも明るさが不足している場合、明暗センサーが機能することがあります。

スリープモニターは明暗センサーの機能を確認するためのものです。秒針が55～59秒のときにスリープモニターボタンを押し続けると、秒針が12時位置に停止し、ボタンを離すと現在時刻の秒位置に早送りで移動します。

13. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により壁面や時計が汚れることがあります。定期的に掃除をしてください。

製品仕様

自動受信修正回数は受信状況により受信を試みる回数が異なります。

条 件	自動受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回/日 最多 3 回/日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回/日 (2 時間間隔)

時 間 精 度	標準電波による修正を行った場合 (受信直後) 表示精度 ±1 秒以内 標準電波による修正を行わない場合 平均月差 ±3 秒 (常温中)
報 時 精 度	表示時刻に対して ±1 秒
使用温度範囲	-10~+50℃
使 用 電 源	リモコン: 単3形アルカリ乾電池 (JIS 規格 LR14) 2本 時計本体: 家庭用 AC100V (50/60Hz) ACアダプタ使用 ACアダプター (100V,30VA,50-60Hz,5V,2.3A) 約2W (演奏時 約5W)
電 池 寿 命	リモコン用電池: 約1年
機 能・機 構	標準電波による時刻修正、電波受信 ON/OFF 切り替え 明暗センサーによる秒針および報時の停止 17cmディスクオルゴール機構、回転速度速度調節機能 試聴機能 (モニターボタン、リモコン操作) 時計背面照明 (LED)
大きさ、重量	縦 1500 横 490 奥行き 285(mm) 重量 約 38kg

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、**リズム時計工業株式会社**が行います。次の記載事項と保証書をよくお読みの上ご利用ください。ご不明な点は弊社お客様相談室にお問い合わせください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品 (電子回路・歯車等) は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース・文字板等) の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。修理内容により、代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)